

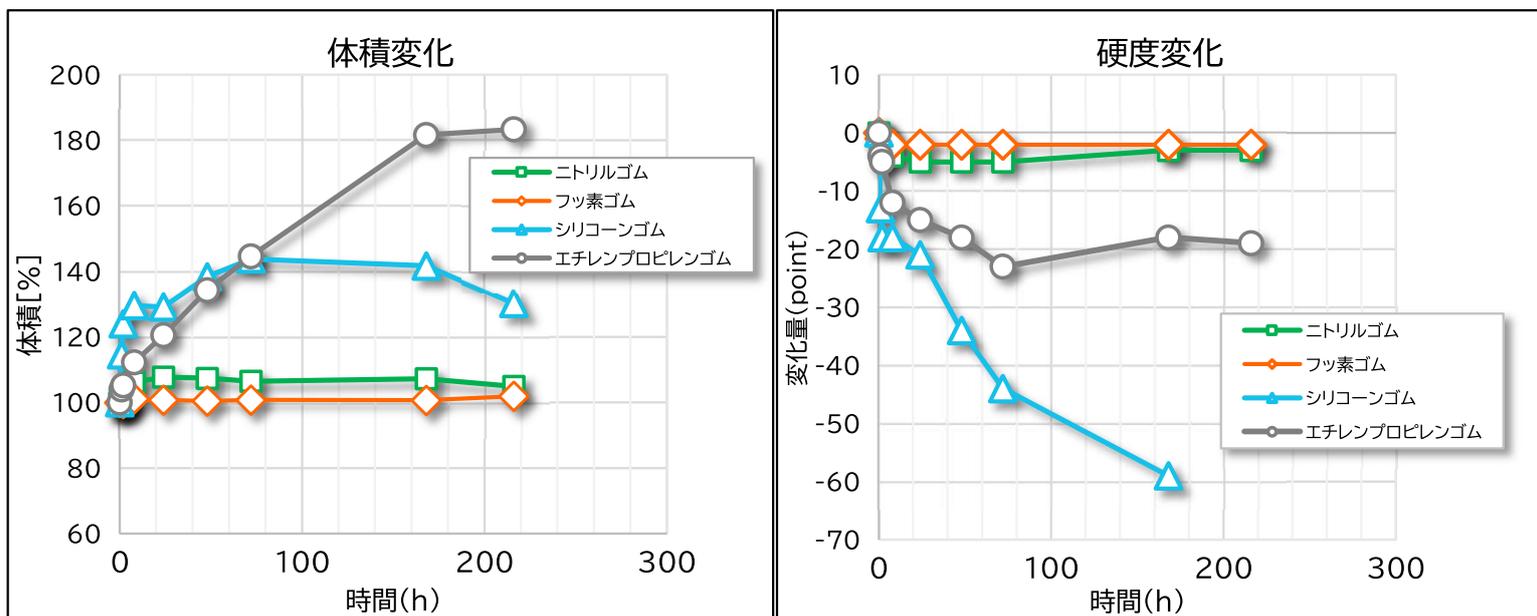
耐油性試験

工業用ゴム製品は、薬品や油と接触する部分で使用されることがあります。こういった用途の場合、ゴムには接触液への耐性が求められます。

耐性のない材料の場合、ゴムは膨潤し、軟化や強度が低下してしまうため、正確な材料選定には事前に耐性試験をすることが重要です。今回は、その一例として社内設備を用いて浸漬試験を実施しました。

潤滑油No.3を用いたオイル浸漬試験

調査材質 : NBR、FKM、VMQ、EPDM
調査項目 : 体積変化率、硬度変化
試験温度 : NBR⇒120℃ FKM、VMQ⇒175℃ EPDM⇒常温
試験片 : JIS3号ダンベル



シリコンゴムとエチレンプロピレンゴムの体積が大きく変化するとともに、軟化する傾向が見られました。(いわゆる膨潤状態)
明らかに耐性のある材質と耐性のない材質の違いができました。

接触する液には油や薬品など多くの種類があります。
弊社では使用する液、環境下での試験実施にも柔軟に対応可能です。
ご検討されております材質でお悩みの場合には、ぜひお問合せ下さい。